

「刻字を楽しむ ～文字の文化・歴史を学ぶ～」

「刻字」とは、木材などに文字を美しく立体的に彫り刻む、伝統的な書道芸術・工芸です。彫刻刀で彫り、彩色することで文字に奥行きと存在感を与えます。表札や看板などでもよく見かけられ、様々な用途で親しまれています。

この機会に一度体験してみたいはいかがでしょうか。



- ◆講師 石川 浩朗 先生（岡山県刻字協会）
- ◆開催日 ① 令和8年2月26日（木）13:00～15:30
② 令和8年3月12日（木）13:00～15:00
- ◆場所 灘崎公民館 美術工芸室
- ◆定員 7名まで
- ◆費用 1200円（＊材料費：刻字用セラミック板、アクリル絵の具）
＊材料費は、当日(2/26)集金します。
- ◆準備物 筆記用具、（2日目塗装の際 … 絵筆、小皿）
＊人数分の彫刻刀は講師が準備する。
個人持ちの彫刻刀（小学生用は不可）を持参してもよい。
- ◆申込方法 灘崎公民館まで電話、FAX、またはEメールでお申込みください。
- ◆申込期限 令和8年2月17日（火）まで

◆その他

- ・2回連続講座です。1日目は彫り、2日目は塗りの作業で完成させます。
- ・作品サイズは、はがき大。陰刻（文字部分が凹むように彫る）で、アクリル絵の具を塗って仕上げます。
- ・題材は、各自好きな文字です。干支、名前の字など、好きな文字を決めてきてください。制作時間から考えて、1文字の作品がよいでしょう。講師の先生も文字の見本（参考資料）を持参していただきます。
- ・セラミック板を彫るため粉が出ます。汚れてもよい服装でご参加ください。